

## 自由民主党仙台市区支部連合会 令和2年度活動方針

令和の新たな御代が始まり初めての春を迎え、半世紀を経て、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックがやってくる。

未来への躍動感があふれている今こそ、東日本大震災からのより良い復興を完遂し、新しい時代に向けた国づくり・地域づくりを力強く進める時である。

全ての子どもたちの幼児教育無償化に引き続き、新たな年度からは高等教育の無償化など、未来に進む子どもたちへのさらなる後押しが始まる。

最大の課題である少子高齢化に真正面から挑戦するため、人生100年時代の到来を大きなチャンスと捉え、「Society5.0」等の技術革新の導入とともに働き方改革を進め、誰もがあらゆる可能性を開花できる「一億総活躍社会」をつくりあげながら、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」を確立していかなければならない。

また、激動する国際情勢の荒波と激甚・頻発化する自然災害や新型コロナウイルスの感染などに立ち向かい、わが国の主権と国民・市民の生命及び財産をしっかりと守り抜くことが一層求められている。

わが党は、これらの国内外の諸課題に果敢に立ち向かうと同時に、未来に責任を持つ保守政党として、これからの国づくりの道しるべとなる憲法の改正に向け、国民的議論を前進させる。

本市区支部連合会は、これらの党の方針に基づく国・地方一体となった組織的活動を力強く実行する責務を有する。

これまで私たちは、政権与党に連なる政令指定都市の政治団体として、東日本大震災からの復旧・復興のけん引、先進科学と新たな産業を拓く放射光施設の誘致、大災害での人々の苦しみを早期に解消するための災害救助法の改正、酷暑から子どもたちを守る公立学校へのエアコンの導入、観光交流・インバウンドを進めるための台湾・タイ王国との航空定期便の開業促進など、政治主導によって仙台市・東北のための施策を着々と積み重ねてきた。

これからも、地域住民に直接向き合う責任ある立場としての使命感と謙虚さを胸に、様々な困難と課題に一致団結して力強く挑み、だれもが心豊かで希望を持てる安全安心な社会の実現と住民福祉の向上を図るため、市民の声に真摯に耳を傾け政策を練り、仙台市はもとより、県や中央政府に対しても主体的に行動を興していく。